

2008年度高槻メディア・リテラシープロジェクト計画

高槻市立A中学校 2008年度メディア・リテラシー授業実践計画

FCT メディア・リテラシー研究所

「子ども・若い人たちとメディア」研究プロジェクト

*2008年度はA中学校全体で推進しているキャリア教育と、メディア・リテラシー教育を組み合わせて、特色ある学校教育の取り組みとして（財）松下教育研究財団から実践研究助成を受けることとなった。研究助成との関連もあり、2008年度は2007年度の反省を踏まえつつ、より「社会・メディア・自分」のつながりを意識できるようになることを重視し、テクストとしてメディアがリプレゼンテーションする仕事や生き方を扱ったものを題材とする。なお、本年度の具体的活動を通して得られた成果を分かりやすく提示する報告書、研究の過程で収集する映像素材、授業の様子、生徒の作品を組み合わせた映像資料など共有できる資料を作成し、地域でのメディア・リテラシー教育の促進に役立てる予定である。

テーマ：キャリア教育（コミュニケーション能力の育成およびメディアが形成する価値観を批判的に読み解く能力の育成）

目標：「メディアが『現実』を構成している」ことに気付く

受講者：男子15名、女子10名の合計25名

初回 5月1日（木）

1. それぞれ自己紹介

アイスブレイクも兼ねて。「私は何（番組名など）が好きな〇〇（氏名）です。次は〇〇さんです」「何（番組名など）が好きな〇〇さんから紹介してもらった〇〇です。私は何が好きな〇〇です。～」を繰り返す。

2. メディア・リテラシーの授業について

去年の前期・後期の作品を見せる。前期の授業の流れの説明。授業はグループ議論がメインであることの説明。グループ議論における各人の役割と注意事項。

3. グループ分けの発表

①5月8日 今週のテレビ日記

1. ファイル配布+導入
2. 今週のテレビ日記

②CMの数量分析（2回）

③CM の映像言語（2～3回）

④ターゲット・オーディアンス（2～3回）

→テクスト候補として、オリンピック CM・キャリア関係 CM（職業関係、学校案内、派遣等）

⑤マンガなど別のメディアもしくは違うジャンルの映像（ドラマ？）（7月の3回）

メディア（広告）産業についても学習する。

⑥制作に向けて（導入～完成まで4～5回）→夏休み明けから

1. これまでの分析活動の振り返り。どのようなことを後期で学んできたか、軽く話をしながら全員で振り返る。どのような活動（今週のテレビ日記など）があったか。どのようなCMを分析したか。どのようなテーマ（映像言語など）があったか。
2. 映像制作についての説明。資料配布。テーマ設定を考える。
3. 班作り。

⑦作品の視聴・分析・振り返り

1. 各班の作品の視聴（3回程度。10分）
2. グループディスカッション（15分）
3. 発表（15分）
4. まとめ（10分）